

インフルエンザ流行期がやってきます!!

今年の1月から新型コロナウイルス感染症が蔓延し、感染対策をしっかり実践したことが奏功したためか、1～3月頃までの当院のインフルエンザ患者の検出数がかなり減少しました。これから流行期を迎えるインフルエンザはどれくらい増えるのか、気になるところです。今回はインフルエンザについて取り上げます。

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は症状がよく似ています。どちらも飛沫または接触感染すると言われています。検査をしないとどちらの病気なのかを判別することは困難です。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の違いをまとめてみました。

比べると症状
以外は少し違
いがありますね。

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
症状	発熱、咽頭痛、咳、倦怠感、頭痛 鼻汁、悪寒など	発熱、咽頭痛、咳、頭痛、鼻汁、倦怠感、悪寒、呼吸苦、味覚障害、嗅覚障害など
潜伏期間	1～2日程度	1～14日（平均5.6日）
感染経路	飛沫・接触感染	飛沫・接触感染
ウイルスの排出期間	5～10日（多くは5～6日）	感染力があるウイルス排出期間は10日以内（長期的にウイルスの排出があるとされる）
ウイルスの排出ピーク	発病後2～3日後	発病1日前
治療	タミフル、イナビル、リレンザなど	現在開発中
ワクチン	インフルエンザワクチン	現在開発中、現時点では有効なワクチンは存在しない

検査方法

インフルエンザも新型コロナウイルス感染症も当院では鼻に綿棒を入れて検査します。検査キットが別なので2本採取することがあります。新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも検査をする場合は必ず患者さんの同意を得た上で検査します。



インフルエンザのお休み期間は？

インフルエンザ陽性の場合は発症後5日を経過し、かつ解熱後2日経過していれば出勤や登校が可能となります。ただし、新型コロナウイルス感染症の検査を同時に実施した場合は検査結果が出るまでは外出等せず、ご自宅で待機して下さい。手洗い・手指消毒、マスク着用は新型コロナウイルス感染症対策にも役立ちます。



新型コロナウイルス感染症対策のお願い

9月は釧路管内で陽性者が発生しませんでした。ただ、北海道全体では毎日陽性者が発生しています。これからインフルエンザの流行期も重なり、感染状況を注視していく必要があります。今後も外出時はマスク着用（症状がなくても）、外出後の手洗い、人ごみは極力避ける、人の手がたくさん触れる場所に触った後は手洗いや手指消毒をする等の基本的な対策を徹底して下さい。会食やイベント、職場内や不要不急の外出もできるだけ控えましょう。

北海道では新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口を1本化し、利便性の向上を図ることになりました。ただし、釧路保健所では平日日中は相談を受けつけるそうですのでお困りの際に活用できると思います。受診に際してはこれまで通り、直接医療機関へ赴くことはお控え下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

よろしくお願いします



インフルエンザワクチンについて

今期はインフルエンザワクチン接種希望者が増えることが予想されます。当院では10月12日より1月31日までの期間、15歳以上の方を対象にインフルエンザワクチン接種を実施します。ご希望の方は受診時にお問い合わせ下さい。また、入院中の患者様も接種可能ですが、治療等により入院中に接種できない場合がありますので、主治医へご相談下さい。インフルエンザワクチンを接種しても、罹患しないわけではありません。外出時はマスク着用、手洗い・手指消毒をしましょう。

次回もお楽しみに